

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
推進校実施報告書

- 1 学校名：岩手県立花巻清風支援学校
- 2 実施日時：2018（平成30）年12月17日（月）10：00-11：30
- 3 対象：生徒名（全校）
- 4 派遣オリンピック： 鹿島 丈博 さん
（体操 アテネ、北京大会出場）

5 授業内容：講演・実技指導

2018（平成30）年12月17日（月）に、岩手県立花巻清風支援学校にて、体操の鹿島丈博さんの講演と実技指導が行われました。

「オリンピックでの経験談と子どもたちに伝えたい大切なこと」というテーマで行われた講演において、鹿島さんは、自己紹介、体操を始めてからオリンピックに出場するまで、そして2020年の東京大会に向けてなどについてお話しされました。講演に際して、花巻清風支援学校では、学校の会報誌で講演の実施の告知をしたり、廊下にオリンピック・パラリンピックコーナーを設置して生徒達に周知を行いました。

自己紹介では、鹿島さんがオリンピックに出場した際の映像が流されました。世界選手権やオリンピックでの演技の映像が流されると、生徒達から歓声があがりました。

続いて、鹿島さんが体操を始めてからオリンピックに出場するまでのことについてお話しされました。兄の影響で3歳から体操を始めた鹿島さんは、「できなかったことができるようになる」経験が楽しくて少しずつ体操が楽しくなっていったそうです。しかし、本格的にオリンピックを目指すようになると、ケガに苦しめられることも多く、諦めかけることも多かった鹿島さんでしたが、「最後までやりきりたい」という強い思いがオリンピックでのメダルにつながっていったそうです。実際に、アテネ大会のときに獲得した金メダルを見せると、生徒達からはとても大きな歓声があがりました。

さらに、上記のようなケガに苦しみながらオリンピックに出場した経験を通して、多くの人に助けられながら競技ができていたことを認識した鹿島さんは、現在、指導者として子どもたちに「達成感」を感じられるような指導をすることで恩返しをしたいと考えているそうです。また、鹿島さんはオリンピックなどの国際大会に出場する中で習得した緊張する場面での対処法である、一呼吸おいて自分で自分に「大丈夫」と言い聞かせる方法を生徒に伝えられました。さらに、鹿島さんがオリンピック出場を目指して練習する中で、恩師から言われた「チャンスはどこにあるかわからないから努力をしないとチャンスはつかめない」という言葉を紹介され、日々の努力がチャンスをつかむことにつながる、ということも伝えられました。

講演の最後には、2020年の東京オリンピックに向けて、世界の人々のレベルの高い演技を直接見に行ってほしい、そして応援が選手の力になるから全力で応援をしてほしい、とメッセージを送られました。

講演後には、学年ごとに記念撮影が行われました。

さらに、10分の休憩の後、体操の実技指導が行われました。小学部、中学部、高等部からそれぞれ2～4人づ

つ代表者が出てきて、体操競技につながる基礎的な動きの指導が行われました。前転につながるカエル跳びや前回りなど、基礎的な動きのポイントを説明しながら指導されていました。代表の児童・生徒達も鹿島さんの指示を聞きながら一生懸命取り組んでいる様子でした。また、周囲で見ている児童・生徒達も技が成功するたびに拍手を送っており、体育館が一体感に包まれていました。

6 授業の様子



【 会報誌 】



【 オリ・パラコーナー 】



【 講演 】



【 集合写真 】



【 実技指導① 】



【 実技指導② 】